



2020 年 11 月 14 日

近つ飛鳥風土記の丘・近つ飛鳥博物館の案内

案内 山下

12 月 3 日のテーマは「森」となっています。昭和 40 年代河南町の丘陵地にある一須賀古墳群がニュータウンとして開発の阪南ネオポリス造成によって失われようとしていたところを大阪府が古墳の最も密集している区域、29 ヘクタールを開発会社より買収、保存を図ったもの。古墳群の中に園路を設けるなどの整備をし 1986 年 6 月に一般開放、1994 年 10 月 7 日に国により史跡として指定を受けている。

貴重な文化財に触れて親しむ場として大阪府が設置した史跡公園です。

公園入口から展望台まで古墳群を見学しながら木々も観察しましょう。

公園の中に「近つ飛鳥博物館」があります。人文科学系博物館でエリア全体が遺跡博物館ともいわれる陵墓・古墳の宝庫「近つ飛鳥」の中核的文化施設として 1994 年に開館しました。

近つ飛鳥の「近つ」という意味は大陸との窓口が難波の港に設けられた頃、難波宮からみて「近い飛鳥」という事で大阪府南河内郡辺り一帯を言ったものである。それに対して奈良県の明日香村を「遠つ飛鳥」という場合もあるが、通常「遠つ飛鳥」はただ「飛鳥」と呼ばれる。

飛鳥に対して、当時劣らない文化を持っていたという事で「近つ飛鳥」と呼ばれた。文献上は「古事記」に履中天皇の弟（後の反正天皇）が難波から大和の石上神宮に参向する途中で 2 泊しその土地を「近つ飛鳥」「遠つ飛鳥」と名づけたとある。

1：日 時 2020 年 12 月 3 日(木)

3：集合場所・近鉄南大阪線 喜志駅東出口 10：30

金剛バス・近つ飛鳥博物館行き 10：50 発 270 円（現金払いのみです）

2：持ち物 弁当、飲み物、双眼鏡、ルーペ、雨具、ストック、その他各自に必要な物

※Aグループは懐中電灯かヘッドランプをお願いします。（石室内見学用）

※ 喜志駅近くにコンビニはありますが公園近くにはありません。

3：目的地 近つ飛鳥風土記の丘・近つ飛鳥博物館（入館料シニア団体 20 名以上 170 円、音声ガイド付き）入館料 170 円は森と海の自然科負担

雨天決行

短い距離ですが急な上り下りがあります。

- 4：行 程
- 10：50 金剛バス・喜志駅発近つ飛鳥博物館行
- 11：06 近つ飛鳥風土記の丘公園入口（準備・トイレ）
- 11：15 B群古墳…D4号墳（一須賀古墳群の中で最大級）…
第一展望台…外周路…J群古墳…I群古墳
- 12：15 昼食（博物館屋上階段・雨天は公園入口屋根の下）
- 12：45 博物館入館（学芸員の方の説明を10分間受けます）
- 14：15 博物館退館 …梅林横の窯跡…B-9号古墳…B群古墳
- 14：55 金剛バス・喜志駅行き （富田林駅行きは15：10）
- 15：11 喜志駅 解散
- 5：歩行距離 4キロ



博物館屋上階段、そびえるのは黄泉の塔